

登録No. G-023
 登録名 Durvalumab/Tremelimumab療法
 適応疾患 肝細胞癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	生食注シリンジ	1筒/body		d1	i.v.		採血後ロック用
Rp.2	トレメリムマブ 生食	300mg/body 100mL/body		d1	d.i.v.	60分	0.2 μ mインラインフィルター使用 体重30kg以下の場合は 4mg/kgで投与
Rp.3	生食	50mL/body		d1	d.i.v.	全開	フラッシュ用
Rp.4	デュルバルマブ 生食	1500mg/body 100mL/body		d1	d.i.v.	60分	0.2 μ mインラインフィルター使用 体重30kg以下の場合は 20mg/kgで投与
Rp.5	生食	50mL/body		d1	d.i.v.	全開	フラッシュ用

1クルールの期間 4週間

その他（副作用・PS規定等）

PS： 0-1

開始基準： Child-Pugh分類A（Child-Pughスコア5又は6点）、BCLCステージB又はC
 Neutr $\geq$ 1000/ μ L、Hb $\geq$ 9g/dL、Plt $\geq$ 7.5万/ μ L、T-bil $\leq$ 2.0 $\times$ ULN、AST及びALT $\leq$ 5 $\times$ ULN
 Alb $\geq$ 2.8g/dL、INR $\leq$ 1.6、Ccr $\geq$ 50mL/min

副作用： 間質性肺炎、大腸炎、重度の下痢、免疫性血小板減少性紫斑病、甲状腺障害、腎障害
 脳炎、静脈血栓塞栓症、重症筋無力症、心筋炎、筋炎、横紋筋融解症
 1型糖尿病、肝炎、硬化性胆管炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害、infusion reaction
 投与中止/再開基準はがん免疫療法ガイドライン参照

注意点： 調製後の最終濃度

トレメリムマブ：0.1～10mg/mL、デュルバルマブ：1～15mg/mL